

道徳通信

No.11 2022年(令和4年)10月3日(月)



学習日：9月29日(木) 内容：「祭りの夜」

母といっしょに出かけた夏祭りの会場で、関西からの観光客と出会う。勇壮な祭りに感動し、さらに秋田について知りたいという思いから質問を重ねる観光客に、一生懸命説明しようとする作者が、改めて地域の良さを認識し、地域社会の一員として主体的に郷土に向き合っていこうとする気持ちがつづられている。作者の体験に自分を重ね合わせて、地域社会の一員として主体的に生きるとは何かについて考えていきたい。

【生徒の考え】 授業後に考えたこと、感じたこと

広島のごとはテレビで見たりして知っているけど、福山のごとはあまり知らない。福山のごともPRできるようになりたいと思った。

自分の地元のことを自信をもって話すために、もっと地元のことを知ることが大切だと思いました。

いざ、自分でPRしようとしても頭に思い浮かばなかったからこの学習を普段に生かせるように調べて言えるようになりたいです。

おいしい食べ物や観光スポットについてほかの地域に住んでいる人に紹介して、広島の魅力についてみんなが気付いてくれたらいいなと思いました。

改めて考えると、福山は日本一のものが意外と多くてすごい町だと思った。

思ったより色々な事が有名な市というのがわかりました。特に、ポニョは鞆の浦をイメージしてつくられているのを知ってすごいと思った。

もし、みなさんが福山市の外に旅行に行ったり、住んだりした時のことを考えてみて下さい。周りの人達のほとんどは福山市以外の人達だと思います。「福山市ってどんなところ？」と聞かれることがあるでしょう。私も同じような質問をされた経験がありますが、うまく答えることができなくて恥ずかしい思いをしました。恥ずかしい思いをしないためにというのがありますが、自分の地元を知ることは自分を知ることにもつながります。これを機会に、調べたり聞いたりしてみましよう。